

令和2年度かいぼり結果概要報告【水元公園：オニバス池 17号】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和2年 11月 21日

【天候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア 19人・関係者約 27人

2. 結果概要

【水質】 かいぼり直後、透視度が改善されるとともにSSの値も減少しました。また、DOも上昇し、T-Pの減少を確認しましたが、BODは上昇しました。その他、CODとT-Nは同レベルでした。

底泥の除去を行っていないことから、水質の大きな改善は確認できないが、池底の天日干しや水の入替えを行ったことで、透視度の改善や底泥への酸素供給など一定の効果があったと考えられる。その他の項目については、井水により復水したことから池の水質は、井水の水質に起因していると考えられる。

【水生生物】 かいぼりでは、重要種であるスジエビ、ドジョウが確認されています。一方で、特定外来生物に指定されている、アメリカザリガニも確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和2年度	
		かいぼり前	かいぼり後
調査日		R2.7.31	R3.2.25
天候		曇	晴
気温	°C	27.5	10
水深	m	—	-
水温	°C	26	9
透視度	cm	41	>50
ORP(酸化還元電位)	mV	+348	+360
pH(水素イオン指数)		8.2	9.3
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	8.8	8.5
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	2.4	4.1
T-N(全窒素)	mg/L	0.69	0.75
T-P(全リン)	mg/L	0.178	0.126
DO(溶存酸素)	mg/L	7.5	11.9
SS(浮遊物質)	mg/L	17	5

捕獲した生物と個体数

和名	令和2年度		重要種		外来種 ※3
	かいぼり前	かいぼり時	環境省RL (2020) ※1	東京都RDB (2013) ※2 区部	
	R2.7.20	R2.11.21			
サカマキガイ		1			○
エビノコバン		1			
カワリヌマエビ属		3			○
スジエビ	17	78		留意種	
アメリカザリガニ	27	1			○
ギンプナ		1			
モツゴ	1	319			
ツチフキ		18			○
ドジョウ		141	NT		
ヨシノボリ属		43			
トウヨシノボリ類	11				



水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 レッドデータブック東京 2013

※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと